

がんに負けない戦略的がん対策推進事業

【現状と課題】

<現状>

- ・平均寿命
男女とも全国ワースト1位
(平成17年) 男76.27 女84.80
- ・がんの年齢調整死亡率(75歳未満・人口10万対)
男性では全国ワースト1位(女性では5位)
(平成23年) 男135.1 女66.3

○本県の死亡率が高い原因に対する効果的な予防対策のためのさらなる現状分析が必要

○平成22年度から、現状分析の基礎となる地域がん登録データの質的・量的精度の充実に取組み、今般大幅に精度が向上

- ・DCO率(がん登録の精度指標)
40~50%で推移
→ H24(H21データ): **5.1%**

◆課題

本県オーダーメイドの戦略的がん対策を実現するため、科学的根拠に基づく実態把握と分析・評価が必要

【事業内容】

○地域がん疫学研究・分析体制の構築

◆地域がん疫学研究寄附講座の開設(弘前大学)

がんの研究・分析手法の確立により、科学的根拠に基づく、より効果的な施策を構築するため、弘前大学大学院医学研究科に地域がん疫学研究に係る寄附講座を開設する。

・事業期間:平成25年度~平成27年度

<寄附講座の概要>

- ・本県のがんの罹患率、部位別生存率、早期発見率、がん検診受診率、生活習慣に係る各指標を分析し、相互の相関関係や、がん死亡率への寄与度を解析・評価する。
- ・がん予防や健康づくりに取り組む市町村等の人材を育成する。

研究内容例



「本県では、どの地域で、どのがんに、どんな対策をとるのが最も有効か」を判断させる研究・解析

○がんの予防分野

- ・部位別がん罹患率の地域差と当該地域の生活習慣の関連分析
- ・ウイルス感染によるがんの罹患率の地域差の分析
- ・市町村のがん予防・健康づくり施策と当該地域のがん罹患率の関連分析
- ・検診受診により早期発見となった割合(がん検診の効果測定)

○人材育成

- ・市町村担当者等の勉強会の開催

【事業成果】

がん死亡率改善に最も有効な対策の把握



- 的を絞った戦略的ながん対策の実現
- がんに関する県民のヘルスリテラシー(健康教養)の向上



科学的根拠に基づく
県民の行動変容
・生活習慣の改善
・検診受診率の向上 等

がんの年齢調整死亡率の減少

がんと闘う・がんに負けない
青森県



平均寿命の延伸

